

「 BCG 膀胱注入療法 」 説明および同意書

四国がんセンター 泌尿器科

患者氏名 () 様

「御本人様のみへの説明でよろしいですか？」 可 御家族同席

<病名> 膀胱癌 (表在性がん・上皮内がん)

<治療> BCG 膀胱注入療法

<治療開始予定日> 平成 年 月 日

<治療期間> 6~8 週間

<治療内容>

前回の手術により、膀胱がんが

「表在性がん」 ・ 「上皮内がん」
であることが判明しました。

「再発予防のため」 ・ 「治療のため」

に BCG (弱毒化結核菌) の膀胱注入療法を施行します。週に一度、尿道からカテーテル (細い管) を用いて膀胱の中に BCG を注入します。この治療はあなたの癌に対して 7~8 割の有効性が認められています。

注入後、約 2 時間は排尿を我慢していただきます。この間に BCG が膀胱粘膜全体にまんべんなく付着します。そのために、治療前には膀胱に尿がたまらないように

- ① 飲水を控える。
- ② 治療前に排尿をすませておく。

といったことに気をつけてもらいます。

注入後の最初の尿は特殊な処理が必要なため、院内の指定の場所で排尿していただきます。それ以降の排尿はどこでもしてもらっても差し支えありません。

最初の排尿以後は速やかに膀胱内から BCG を洗い流すため、その日の内に 1.5~2.0 リットルの飲水を心掛けてください。翌日からは普段通りで結構です。

初回注入のみ、合併症等の確認のため入院で行います。問題なければ二回目以降は外来にて行います。

重症度の高い合併症が出現した際には治療は中止となります。

<合併症>

「頻度は少ないが重症化する可能性のあるもの」 (頻度不明、1%以下)
結核菌感染 (全身性、局所性)

間質性肺炎

萎縮膀胱

アレルギー

腎不全

「比較的頻度が高いもの」(10%以上)

排尿痛・頻尿・血尿・・・いわゆる「膀胱炎症状」

血尿が出ている場合には治療は行えません。赤い尿が出ている際は医師にお伝えください。

発熱・・・38度をこえる熱が出る場合があります。解熱剤にて対処します。

①39度をこえる発熱

②2日以上続く38度以上の発熱

の場合には結核菌感染対策として抗結核薬を内服してもらうことがあります。

該当する場合には直ちに病院に連絡をください。

<その他>

説明年月日 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

説明医師 _____

上記の説明に納得し、治療を受けることに同意します。

同意しません。

患者氏名 _____

同席者氏名 _____